科目名	共通基本技術Ⅱ （フィジカルアセスメント）	対象学年・時期	１年・後期
講師	専任教員	単位数・時間数	１単位・３０時間
講義概要	ディプロマポリシー３に基づく。ヘルスアセスメントとは、人々の健康状態を総合的に査定することであり、フィジカルアセスメントは、健康状態を査定するために行う身体の診察・評価である。看護師には対象を正しく「診る」ことが重要であり、身体内部でおきている状況を把握するために問診、視診、触診、聴診、打診など診断的手法を習得する必要がある。また、中でも体温、呼吸、脈拍、血圧、意識状態といった「生きている」ことをアセスメントすることは健康をアセスメントする際の基盤となるため重要である。療養の場が多様化し、看護師の役割が拡大している中で看護師の観察して気づく力や自主的な援助・支援が今後より一層求められる。 よって、ここでは解剖生理学の知識を活用し、対象の健康状態を評価する意義と身体の情報を正しく捉え、正常、異常を判断していく技術を習得すると共にアセスメントする力を養う。		
講義形態	講義・演習		
学習目標	１．ヘルスアセスメントの概要がわかる。 ２．フィジカルアセスメントの基本がわかる。 ３．バイタルサインを正確に測定できる。 ４．身体計測を正しくできる。 ５．身体機能別にフィジカルアセスメントの方法がわかる。		
学習内容 （授業計画）	１回目　ガイダンス　ヘルスアセスメントとフィジカルアセスメント ２回目　バイタルサインとは ３回目バイタルサイン測定演習（体温、脈拍、呼吸）事前学習：自分の体温、脈拍、呼吸の測定を行う 事後学習：体温、脈拍、呼吸測定の練習 ４回目　バイタルサイン測定演習（血圧）　事後学習：血圧測定の練習 ５．６回目　バイタルサイン測定演習（一連の動作）　事後学習：バイタルサイン測定の練習 ※技術チェック、技術テストあり ７回目　意識状態のアセスメント　瞳孔の見方 ８回目　身体計測 ９．１０回目　呼吸器系のアセスメント　事後学習：呼吸器系の聴診の練習 １１．１２回目　循環器系のアセスメント　事後学習：循環器系の聴診の練習 １３回目　腹部のアセスメント　事後学習：腹部の触診、聴診の練習 １４回目　まとめの演習（シミュレーターを用いて観察を行う） １５回目　終講試験		
使用テキスト	系統看護学講座 基礎看護学２ 基礎看護技術Ⅰ，医学書院 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス,インターメディカ		
事前学習・ 事後学習 (学習を促進できる学修)	内容については「学習内容」を参考にしてください。 演習前には、事前にテキストの該当部分や動画を見て練習をしてから授業に臨んでください。 演習後には、行った技術の練習を行ってください。		
評価基準と 評価方法	終講試験９０％　バイタルサイン測定技術試験１０％		
備考			